

2023 年度 水俣学講義 2024 年 1 月 25 日

担当 花田昌宣

水俣病と水俣学の将来展望

はじめに

1. 水俣病事件の一年間

被害者の現状

水俣病認定患者数

水俣病被害者数

近畿訴訟判決とその意味

2023 年 9 月 27 日 大阪地裁

原告全員認められる

国と熊本県が控訴

水俣病訴訟の現状と課題

2. 水俣病に関する教育と研究

小中高での教育 と課題

水俣病研究の課題

分かっていることと分かっていないこと

水俣病の「原因」

水俣病の治療とリハビリ

3. 水俣病をめぐる諸課題

○ 当初

(ア)原因の究明

(イ)地方都市での出来事

(ウ)被害者数の少なさ

○ 現時点では

原因：工場廃水中の重金属による中毒

4 大公害事件

患者・被害者数

認定患者数。

「被害者数」各種救済策対象者数 7万人

4. そもそも水俣病とは

工場廃水	チッソ、日窒の化学工場の工程
海洋汚染	水質汚染の防止と規制策は
魚貝類汚染	汚染の調査と漁獲規制は
食物連鎖	摂食規制は
健康被害	被害の実情と補償

5. 水俣学とは

人類の負の遺産（経験）を将来に生かす取り組み

「水俣病学」ではなく「水俣学」と称する意味

水俣病という「病気」の研究だけではないこと

地域学・地域研究ではない

教育：公害教育から環境教育

被害者と被害事実を焦点を当てる試みの必要性

学生の学び 現地研修、さらに教員の研修と学び

研究：分かっていることと分かっていないこと

調査の必要性：調査はされてこなかったのか

膨大な研究の蓄積があるのだが

cinii で 3999 件の論文や記事、書籍は 580

水俣で検索すれば 6500 件

イタイイタイ病は 816 件

何がわかっていないのか

まとめ 水俣病事件の経験を将来に生かすこと

一人一人にとっての水俣

この授業で学んだことを将来に生かすとは：職業生活に生かす

水俣学を学び続けること

卒業論文や卒業研究

大学院での研究